



# 関東同窓会だより

特集：津山高校 120 年の歩み

会長挨拶 総会報告 懇親会 作品展 総会・懇親会参加者名簿 OB にこの人あり  
津山高校のニュース 津山のニュース 関東同窓会役員・常任委員一覧



# 会長挨拶

## 創刊号発行にあたって

津山高等学校関東同窓会  
会長 片岡廣治郎

昨年の総会で報告し、了承を得ました念願の津山高等学校関東同窓会の会報創刊号を皆さんの元へお届けすることが出来ました。これで、不足気味だった同窓会の皆さんとのコミュニケーションが、これまで以上に図れるものと期待しています。

何年も前から会報を作ってはどうかとの、ご意見やアドバイスをいただいていたのですが、誰が編集をやるかで行き詰まっていた。幸い、巻末に名前が載っている編集委員会の皆さんに快く引き受けていただき、何回も編集委員会を重ね、大変な作業の末に出来あがったものと思っています。メンバーの人たちの熱意とボランティア精神には敬服しています。

今回、発行に掛かる経費を賄うべく、同窓生の皆さんに名刺大の広告をお願いしました。多くの方々に、ご賛同をいただき所定の金額が集まりました。誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

加えて、広告収入だけでは不足する分を、同窓生の皆さんから戴いている年会費の一部を当てました。機会あるごとに、年会費のお願ひと、納入への感謝を述べてまいりましたが、この様に有効利用できる報告ができ満足しています。

また、大変ありがたいことに、年会費の納入額がこのところ増えてきました。高齢で総会には参加出来ないが、案内状が届くと直ぐに振り込んでくださる先輩もおられます。そのような方にも今回の会報をお届けすることによって、同窓の絆をいつまでも、つないでいけるものと思っています。

今後も、この会報は年一回発行する予定にしています。ご意見やお便り等遠慮なくお寄せいただき、一層の充実を図っていきたくと思っていますので、よろしくお願ひします。





## 議案

1. 関東同窓会会長挨拶
2. 議長・書記選出
3. 平成26年度事業報告・会計報告
4. 監査報告
5. 平成27年度事業案・予算案
6. 役員選任
7. その他

## 決算報告

平成26年度決算報告書 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

収入の部			支出の部				
項目	H26年度予算	H26年度実績	差異	項目	H26年度予算	H26年度実績	差異
総会費	700,000	728,000	28,000	総会費	700,000	801,856	101,856
年会費	800,000	850,000	50,000	常任委員会・役員会・幹事会費	200,000	318,458	118,458
ご祝儀	40,000	50,000	10,000	印刷通信事務費	500,000	396,676	▲103,324
控除額込料	▲50,000	▲39,798	10,202	HP運営費	20,000	12,960	▲7,040
預金利息	500	283	▲217	本部同窓会参加費	30,000	0	▲30,000
その他(義援金)	0	45,800	45,800	その他(新規事業)	40,500	76,802	36,402
小計	1,490,500	1,634,285	143,785	合計	1,490,500	1,606,852	116,352
前年度繰越金	3,514,185	3,514,185		H26年度収入実績-H26年度支出実績		27,433	
合計	5,004,685	5,148,470	143,785	翌年度繰越金		3,541,618	

平成27年度予算案 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

収入の部			支出の部				
項目	H26年度予算	H27年度予算	差異	項目	H26年度予算	H27年度予算	差異
総会費	700,000	700,000	0	総会費	700,000	700,000	0
年会費	800,000	800,000	0	常任委員会・役員会・幹事会費	200,000	300,000	100,000
ご祝儀	40,000	40,000	0	印刷通信事務費	500,000	400,000	▲100,000
控除額込料	▲50,000	▲40,000	10,000	HP運営費	20,000	20,000	0
預金利息	500	300	▲200	本部同窓会参加費	30,000	0	▲30,000
その他(義援金)	0	120,000	120,000	その他(新規事業)	40,500	200,300	159,800
小計	1,490,500	1,620,300	129,800	合計	1,490,500	1,620,300	129,800
前年度繰越金	3,514,185	3,541,618	27,433	H27年度収入予算-H27年度支出予算		0	
合計	5,004,685	5,161,918	157,233	翌年度繰越金		3,541,618	

## 会則

1. 本会は岡山県立津山高等学校関東同窓会と称す。
2. 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展を助力することを目的とする。
3. 本会は事務所を東京都内におく。
4. 本会は関東一円在住の会員(母校同窓会会則による)をもって組織する。
5. 会員は所定の会費(2,000円)を納入するものとする。
6. 本会の会計年度は毎年1月1日に始まる。
7. 本会には次の役員及び委員をおき総会においてこれを選任する。  
会長1名 / 副会長5名以内 / 会計男・女各1名 / 庶務男・女各4名  
常任委員各期(原則として)男・女各1名 / 会計監査委員2名
8. 役員及び委員の任期は2ヶ年とする。
9. 本会は毎年1回以上総会を開き役員及び常任委員会は必要に応じて随時それを開く。
10. 本会の決議はすべて出席会員の多数決により決する。
11. 本会の会則改正は総会の決議によって行う。
12. 申し合わせ事項  
庶務及び会計の1名又は2名は、年次(卒業年次)の当番制とし、副会長が、当番年次の常任委員と協議し、選任することとする。

## 関東同窓会長の挨拶(要約)

近年では最多の140人を超える同窓生にお集まりいただき、感謝しています。また、津山から牧山会長、今井校長をはじめ来賓の方がおこしいたいでいます。遠いところ、ありがとうございました。

最初に、ご覧いただいている通り、今までの看板に代えて同窓会旗を新たに作成し、壇上に掛けましたので、ご報告いたします。それでは議事を進めます。慣例により私が議長を務めます。

次に役員人事ですが、増田美子さんを副会長に推薦いたします。拍手でのご承認ください(満場一致で承認)。また、本人のたつての希望により山本茂樹副会長が辞任されました。今から懇親会に移ります。今までと少し趣向を変え、昨年誕生したばかりの「とっとり・おかやま新橋館」で開催することが出来ました。ホテルとは勝手が違うので、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、お許しください。今回は全体に郷土色を出しました。食事もホルモンうどん等の郷土食とし、飲み物も津山から取り寄せました。景品も故郷産品としました。ここまで出来たのも、幹事年をはじめ幹部の皆さんの努力の賜と感謝しています。

今日は、同窓で上海在住の古林恒雄さんが参加されています。彼は長年、日中ビジネスの橋渡しをしてきた人で、現在は華鐘コンサルティンググループの董事長をされています。後ほどご挨拶をいただきます。

昨年からはじめた同窓生の作品を今年も展示しました。出展数も増えて28点になりました。ゲームやアトラクション等も用意しています。ごゆっくり最後までお楽しみください。

## 幹事の挨拶(要約)

「ふるさととは遠くにありて・・・」そんな事を頭の片隅において日常を過ごしておられる方もいらっしゃるかと思います。今年の津山高校関東同窓会是我々41期が幹事年ですので、開催にあたり「遠くを近くへ」との思いを持って準備を進めてまいりました。その一つがとっとり・おかやま新橋館での開催であり、一つが美作の食べ物の振る舞いとなっています。

同窓生が集まり、津山や昔の話題を語り、そして距離と時代を近くに感じる。通信手段や交通手段が進歩してもまだ感じる事は多々あると思います。この「遠くを近くへ」ですが、我々年度幹事にとっても、多くの同郷の人の手助けをうけるなど新たな繋がりがから近さを感じる事ができました。

我々も若くはありませんが、卒業年と言うと「平成」です。世代が変わったと言われつつも、繋ぐべきものは繋いできたと思います。来年幹事である42期の皆さんにもお願いしたいと思います。皆様、本日のご来場・ご支援、誠にありがとうございました。そして、この会を開催するにあたりお力を貸して下さった方々、誠にありがとうございました。平成27年度幹事一同

アナウンサー / レポーター / MC / DJ / 番組制作 / タレントキャスティング  
株式会社 エス・オー・プロモーション

代表取締役会長  
フリーアナウンサー・トークアカデミー塾長

押阪 忍

〒107-0062 東京都港区南青山5-4-35-707  
TEL 03-3406-1661 FAX 03-3406-1426



www.so-pro.co.jp

www.so-pro.co.jp

守谷輸送機工業株式会社

東京支店

参事 安東 穆

守谷エレベーター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-1-2-8  
TEL 03(6228)3460(代)

アンテナショップ「とっとり・おがやま新橋館」にて145人の同窓生による



同窓会長  
牧山政雄氏



校長  
今井康好氏



前関東同窓会長  
長谷武氏

NHK 会友

中村 宏

津山高校いざよう会 (11期)

小林邦江税理士事務所

税理士 小林 邦 江

〒224-0055 横浜市都筑区加賀原1-24-1-203  
TEL 045(943)4721  
FAX 045(943)8107  
E-mail:kobaku@keh.biglobe.ne.jp



懇親会は、和やかに賑やかに開催されました。



一般社団法人 進化経営学院

創設の辞

逆境練機 転原自在  
経営進化 互惠共栄

代表理事 黒田悦司

〒311-3508 茨城県行方市沖 1543-10  
☎ 0299-57-0377  
URL <http://rinen.gr.jp/>

昭和 37 年卒

空調周辺機器総合メーカー

UCAN® UCAN CO.,LTD.



代表取締役

安 藤 馨

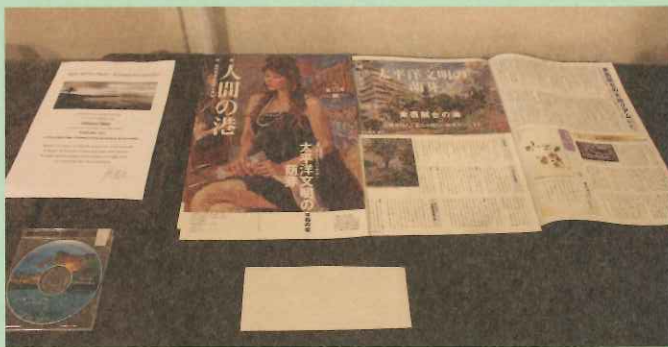
ユーキャン株式会社 加湿器、全熱交換器、ドレン処理機

本 社  
〒193-0832 東京都八王子市散田町5-6-19  
TEL042-665-8846 FAX042-661-3887  
(携帯電話 090-3192-2631)  
URL <http://www.ucan.co.jp/> E-mail : [i\\_ando@ucan.co.jp](mailto:i_ando@ucan.co.jp)

昭和 39 年卒

# 作品展 2015

絵画・書道・陶芸・絵本等、芸術の秋にふさわしい同窓生の、28点もの作品が出展されました。



カフェ・バー  
**GORI**

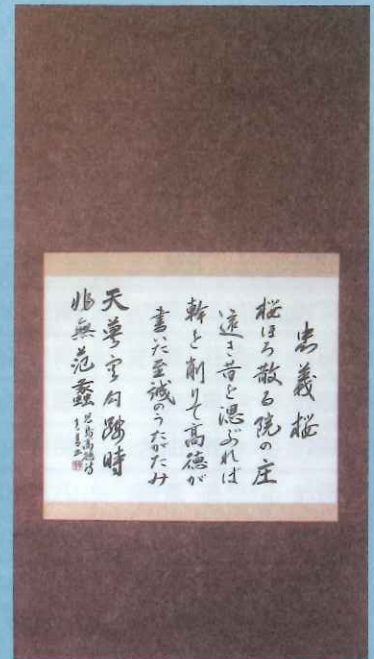
藤本 宣  
礼子  
東京都新宿区新宿 1-17-11 大洋ビル 1F  
TEL. 03-3353-1294

明治大学教授

工学博士 さか うえ きょう すけ  
坂 上 恭 助

〒214-8571  
理工学部建築学科建築設備研究室  
川崎市多摩区東三田1-1-1  
TEL/FAX : (044)934-7380  
E-mail: sakaue@isc.meiji.ac.jp

異天敬人



❖当方の不手際により、出品して下さった方全員の作品を掲載することが出来ませんでした。お許しください。

東京大学医学部附属病院形成外科・美容外科

教授

光嶋 勲

ISAO KOSHIMA

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
Tel 03-3815-5411 Fax 03-3814-7922  
URL <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/plastic/>



東洋大学教授

薬師寺克行

昭和45年卒

昭和49年卒

# 総会・懇親会参加者名簿 2015



## ■来賓

津山高等学校同窓会長	牧山 政雄
津山高等学校同窓会監事	山本 俊彦

津山高等学校校長	今井 康好
津山中学校副校長	森川 道安

同窓会事務局長	秋山 貴
同窓会事務局次長	植月 透

## ■会員

卒業年	氏名	市区
昭25	川上 富次	府中市
昭25	長谷 武	横浜市
昭25	福田 洋三	鎌倉市
昭26	小賀 由章	柏市
昭26	児島 康夫	八王子市
昭28	押阪 忍	杉並区
昭28	酒井 貞子	富士見市
昭29	福田 和義	船橋市
昭30	安藤 靖爾	国分寺市
昭30	金築 順子	所沢市
昭31	菊地 芳子	品川区
昭31	直原 正	練馬区
昭31	白岩 良一	千葉市
昭31	隅田 憲平	茅ヶ崎市
昭31	田淵 禮子	志木市
昭31	日原 暎子	稲城市
昭33	太田 健一	杉並区
昭33	小倉 万智子	練馬区
昭33	柿内 扶仁子	世田谷区
昭33	河田 伸裕	横浜市
昭33	坂手 彰	稲敷郡
昭33	椎木 将盛	川崎市
昭33	田淵 雅彦	我孫子市

卒業年	氏名	市区
昭33	福原 毅	杉並区
昭33	室賀 裕三	大磯町
昭34	石原 公子	川崎市
昭35	安東 穆	横浜市
昭35	片岡 廣治郎	千葉市
昭35	高本 征治	江東区
昭35	小西 恒男	伊東市
昭35	小林 邦江	横浜市
昭35	佐古 昌弘	横浜市
昭35	佐藤 興子	横浜市
昭35	田淵 隆三	あきる野市
昭35	寺坂 拓垂	千葉市
昭35	中村 宏	町田市
昭35	西田 知史	杉並区
昭35	馬場 史郎	練馬区
昭35	吉岡 敏子	相模原市
昭35	吉田 光政	横浜市
昭36	井上 明	流山市
昭36	岡本 玲子	日野市
昭36	古林 恒雄	上海市
昭36	近藤 達也	川崎市
昭36	佐藤 恭子	厚木市
昭36	竹内 妙子	新宿区

卒業年	氏名	市区
昭36	寺元 隆弘	横浜市
昭36	中井 敬一郎	蓮田市
昭36	本田 貢一郎	八王子市
昭37	浅沼 暢子	船橋市
昭37	大森 慎	鎌倉市
昭37	小原 晋	横須賀市
昭37	黒田 悦司	行方市
昭37	斉藤 正子	所沢市
昭37	土屋 リエ子	越谷市
昭37	中林 さつき	深谷市
昭37	深津 美南子	横浜市
昭37	深町 聡子	板橋区
昭37	福田 美里	船橋市
昭37	山田 和美	小平市
昭37	山本 茂樹	越谷市
昭38	澤谷 豊	横浜市
昭40	草地 八寿郎	千葉市
昭41	清水 義昭	さいたま市
昭41	福田 卓三	多摩市
昭41	松本 豊久	清水町
昭41	梶 京子	横浜市
昭43	黒瀬 英夫	相模原市
昭43	橋本 千賀子	宇都宮市

## 額田・井口法律事務所

弁護士

### 額田 洋一

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2丁目15番地  
近代科学社ビル6階  
TEL 03-3267-3201 fax 03-3267-3202

## 山口ゆりか税理士事務所

税理士

### 山口 ゆりか

YURIKA YAMAGUCHI

〒223-0058 横浜市港北区新吉田東1-17-16  
TEL 045-548-1047 FAX 045-548-1258  
MOBILE 090-3450-7596  
URL <http://ameblo.jp/kurara0831/>  
E-mail office-yurika@hi-ho.ne.jp





■ 会員

(145名 敬称略)

卒業年	氏名	市区
昭44	井上 正士	久喜市
昭44	藤本 明美	北区
昭45	磯山 茂	千葉市
昭45	高島 範真	越谷市
昭46	坂本 博子	品川区
昭46	鈴木 一成	豊島区
昭46	水田 潤子	川崎市
昭47	原 雅彦	船橋市
昭48	石井 雅晴	新宿区
昭48	永松 呉葉	川崎市
昭49	松下 いづみ	和光市
昭49	山本 大	浦安市
昭50	広野 晃子	川崎市
昭50	松本 薫	葛飾区
昭50	水上 恵美子	横浜市
昭50	森安 克美	文京区
昭50	山田 雅義	新宿区
昭51	小田 由美	横浜市
昭51	小林 充佳	練馬区
昭51	原田 美代子	狛江市

卒業年	氏名	市区
昭51	森安 康雄	国立市
昭54	神田 英一	千代田区
昭54	松田 匡司	千葉市
昭54	森安 万寿美	文京区
昭57	難波 竜太郎	世田谷区
昭58	松原 佐代子	幸手市
昭60	大谷 俊典	横浜市
昭62	岡野 洋士	横浜市
昭62	谷口 正基	豊島区
昭62	廣野 崇文	横須賀市
昭63	繁定 正典	小田原市
昭63	早瀬 徹	茅ヶ崎市
昭63	早瀬 有里	茅ヶ崎市
平02	飯島 千穂	市川市
平02	石井 香	船橋市
平02	井戸 道秀	船橋市
平02	居森 優子	横浜市
平02	太田 真治	川口市
平02	神田 隆弘	福生市
平02	白髭 佳美	川崎市

卒業年	氏名	市区
平02	通山 貴代	川崎市
平02	中西 計寿	世田谷区
平02	野崎 祐臣	柏市
平02	橋爪 里恵	目黒区
平02	松本 真希	新宿区
平04	國井 美由紀	千代田区
平04	関口 理砂	中央区
平10	山田 精一	流山市
平11	小谷 匠平	品川区
平13	村上 智允	港区
平13	丸尾 亜沙子	中央区
平02	中島 徳郎	津山市
平02	角田 貴之	津山市
平02	黒藪 忠章	勝田郡
平02	小原 清見	岡山市
平02	日下 奈々	津山市
平02	土井 満美子	津山市
平02	湯浅 貴恵	津山市

■ 学生

卒業年	氏名	市区
平22	和田 有希	調布市
平23	内田 光哉	西東京市
平24	田口 紘己	西東京市
平24	鳥家 崇志	新宿区

卒業年	氏名	市区
平25	溝口 達也	西東京市
平24	岡田 悠	横浜市
平25	落合 厚	港区
平25	日笠 比咲子	豊島区

卒業年	氏名	市区
平25	城戸 晃生	西東京市
平26	河原 正明	相模原市
平27	鳥取 岳広	西東京市
平27	岡本 比呂	小平市

立教大学法学部教授 博士 (法学)

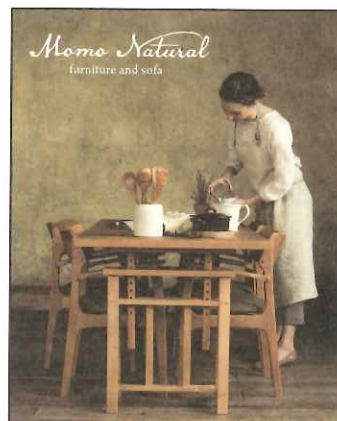
立教大学体育会剣道部 部長

神 橋 一 彦

KAMBASHI KAZUHIKO

大学 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

USL: <http://www.rikkyo.ac.jp/>  
<http://www.rikkyo.ne.jp/sgrp/kendo/>



凝った加工よりも木の自然な風合いを、  
目新しいデザインよりも  
シンプルなフォルムを大切にしています。  
なぜなら主役は家具ではなく、  
それを使う人自身のだから。

株式会社 脇木工 MOMO HOUSE  
 MOMO NATURAL・PIENIKOTI @ RIVERGATE  
 岡山県久米郡美咲町塚角 1838 tel 0868-64-2033  
 代表取締役 脇 淳朗 (平5年卒44期生)  
 東京 office 東京都目黒区自由が丘 2-8-17 3F  
 tel 03-3725-9706

東京・横浜・千葉・名古屋・大阪・兵庫・福岡に  
11店舗を展開。詳しくは、WEBをご覧ください。  
[www.momo-natural.co.jp](http://www.momo-natural.co.jp)

昭和 58 年卒

平成 5 年卒

# OBにこの人あり

華鐘コンサルタントグループ代表



こばやしつねお  
古林恒雄

昭和36年卒

● 1965年東京大学工学部卒業、鐘紡(株)入社。75年初訪中の技術紹介が成功し、78年から84年まで上海石化向けPETプラント輸出の現地総代表。85年より中国室長、中国首席代表として中国事業開発に従事、20数社の合併会社を設立運営。94年上海華鐘コンサルタントサービス(有)、05年上海華鐘投資コンサルティング(有)、09年上海華鐘信息管理コンサルティング(有)を設立、董事長を兼任。上海外国投資促進センター高級顧問、上海市外商投資企業協会副会長、各地人民政府、開発区顧問など。主な著書に『海外職業訓練ハンドブック中国編』(共著、98年11月(財)海外職業訓練協会)他多数。00年通商産業大臣より海外経済協力貢献者表彰、03年上海市白玉蘭記念奨、07年同栄誉奨受賞、09年中国の永住許可証を取得。11年中国30年以上の業務歴を取材した「中国ビジネスは俺にまかせろ」(山田清機氏著、朝日新聞出版)が出版された。

## 私の仕事を通して見た日中関係

今回「津山高校関東同窓会だより」創刊号に私の中国での仕事を紹介できるのは大変光栄に思うと同時に、津山高校にこんな同窓生もいたかと中国への親近感を感じただけであれば望外の喜びです。

私は津山高校第12期1961年卒業、今年で卒業55年になります。人生の半分37年間を中国での仕事に従事してきました。最初の仕事は中国でのプラント建設で、技術者として繊維会社に就職した私は、その会社で開発した技術が中国に売れたという理由で、1978年から上海、山東省、新疆ウイグル自治区、浙江省紹興などにポリエステル繊維を生産するプラント建設をしました。当時の中国は文化大革命が終わったばかりで、まだ社会は混乱しており、食料は足りていましたが人々はほとんど人民服姿でした。そこへ「中国の全人民に一年に一枚のポリエステルシャツを供給する」というスローガンを掲げて、外貨もないのに当時では世界最大で最先端のポリエステル生産工場を建設しようというのですから、今から考えても大胆な試みでしたが、日本からの信用供与もあって、

それぞれのプラント建設は順調に完成して今でも立派に稼働しています。

続いて1986年ごろから日本で不要になった中古設備を中国に現物出資して20社余りの日中合併事業を起こして経営しました。当時の中国は外貨もなく、

GDP(国内総生産)は現在の実に60分の1ぐらい、当時の日本は絶好調のバブル気味経済でGDPは中国の25倍もありました。私たちの合併会社は日本と中国が50%ずつ出資する対等合併でしたが、従業員もよく働きましたし、全体で年間に20億円ぐらいの利益を上げていました。2004年に私のいたカネボウ(当時)が経営破たんしてほとんどの会社を中国側に譲渡しましたが、日系企業の中国進出をお手伝いするコンサルティング会社だけを私が引き継いで今もやっています。

合併会社を始めた頃から今年で30年になりますが、中国のGDPは日本の2.5倍にもなって完全に日中の経済規模は逆転して今では500万人もの中国観光客が「爆買い」で日本経済を助けてくれています。しかし多くの中国人が「私たちは中国が経済発展する過程で、多くの事を日本が助けてくれたことを決して忘れない」と言っており、私もその一端を担ってきたことになります。

日本と中国は2千年を越える友好交流の歴史があります。息子一家も今は中国で働いていますが、5歳と1歳の孫娘と遊ぶたびに、日本と中国はもっと仲良くしなければならぬと痛感します。政治的な関係は時の為政者の思惑でいろいろですが、民間での交流が親密であれば、草の根のところでも両国の関係は親密であり続けることが出来ると思います。その為にも私ももう少し中国の現場で頑張っていこうと思っています。

◀写真は、春節に息子一家と撮ったものです。孫娘二人も中国にとけ込んで一緒に遊んでくれています。皆さんも中国に遊びに来て、日本のマスコミ報道にはない本当の中国を見て頂ければと思います。





しもやま いさお  
下山 勲

昭和48年卒

東京大学大学院情報理工学系研究科教授  
東京大学 IRT 研究機構機構長

● 1977年東京大学工学部機械工学科卒業、1982年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了・工学博士、1982年東京大学講師、1983年同助教授、1998年～同教授。この間、1986～87年米国カーネギーメロン大学客員助教授、2007～10年東京大学大学院情報理工学系研究科研究科長、2008年～東京大学 IRT 研究機構機構長、2011年～タッチエンス株式会社社外取締役（東京大学発ベンチャーに対するの兼業許可）



## 少子高齢社会の支援科学技術

小学生のころに読んだ鉄腕アトムに強く影響を受け、昭和48年に津山高校を卒業後、機械工学を専門として、現在まで、メカトロニクス、センサ、ロボットの研究を続けてきました。若いときには、科学技術が社会の何の役に立つのか考えたことはありませんでしたが、歳を重ねるにつれ、社会にどのように還元できるのか、とくに、少子高齢社会を支援する科学技術という観点から考え、活動するようになりました。

少子高齢社会とは、文字通り、出生率が減少し、寿命が延びることをいいますが、家族構成も大きく変化していきます。私は1955年生まれ、私の息子は1985年生まれです。国立社会保障・人口問題研究所の統計・推計によりますと、私の同年齢の人の50歳時点での未婚率は11.2%、無子率は17.7%、孫を持たない率は21.2%であったのに対して、1985年生まれの息子と同年齢の人の50歳時点での未婚率は24.3%、無子率は38.1%、孫を持たない確率は50.2%になるそうです。この数字が意味するものは、「今後の世代では、子や孫など従来の形の家族を持たない人の割合が増え、高齢期の介護などを家族に託すことが困難となることを示唆している」といわれています。また人口推計は最も「当たる」推計といわれています。このような少子高齢という社会課題に対して、社会的な制度の改革、家族や社会の理解など社会的な対応により安定な状態を目指すことが大切だといわれていますが、科学技術がお節介でなく貢献できることも考えています。

東京大学 IRT 研究機構では、このような社会課題対応の科学技術を企業とともに研究しています。たとえば、人が搭乗できるロボットで、コンピュータや通信機

能をもち、詳細な地図情報と周囲状態の検知機能を使って、全自動で目的地まで移動します。歳をとっても障害があっても人に頼らない自由な移動を提供します。他にも、掃除や片付けをする家事支援ロボットがあります。また、社会インフラの高齢化、老朽化が進行していますが少子高齢社会では点検できる人材も先細り、また、点検すべきところに人が容易に行けない場合もあり、異常のモニタリングシステムや点検ロボットが喫緊の研究課題となっています。

産業革命のときに、ラッドライト運動が起こりました。機械によって労働の機会が奪われると考え機械を打ち壊す運動でした。現代の(産業)革命はインダストリー4.0やIoT(Internet of Things)と呼ばれ、工場や屋外環境や家庭などでのデジタル化によるものですが、懸念はあるものの、労働力人口の減少が推計される状況下で、生活の質の維持・向上のための「効率化」として受け入れられているようです。しかしながら、科学技術としてのセンサシステムやロボットは、まだ、価格に対する性能が低く、商品化されても、ほんの一部の会社や人が購入するにすぎません。ビジネスを通して初めて革新的な社会の変革(イノベーション)がもたらされますが、ロボットやセンサシステムが十分成長し、イノベーションを引き起こせるよう研究を続けたいと思っています。



# 津山高校のニュース

## 着任のご挨拶

岡山県立津山高等学校校長 菱川靖人

岡山県立津山高等学校関東同窓会の皆様方におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解ご支援をいただき衷心より感謝申し上げます。また、同窓会報「津山高校関東同窓会だより」の発行、誠にありがとうございます。これも、片岡会長様の強い牽引力のもと、貴同窓会の意気軒昂さを表しているものと拝察いたします。

さて、私こと、平成27年度末の人事異動で、第19代校長を拝命いたしました。私自身、津高29期（昭和53年3月）の卒業生であります。また、教諭として11年、そしてこの3年間は教頭として母校に勤務いたしましたので、引き続き管理職としてお世話になります。出身は津山市（旧久米町）久米川南で、久米中学校です。高校では3年間自転車通学（今でも時々自転車通勤です）でした。ある年の冬、大雪のため授業途中で臨時休校になったとき、自転車で帰宅中、雪がタイヤと泥よけ部分に詰まり、車輪が回転なくなり、残り2キロは自転車を押して（滑らして？）帰った記憶があります。

昨年度は、津山高校創立120周年、津山中学校の開校と大きな節目となる年でした。特に、前者につきましては、同窓生の皆様方のご支援を賜り、記念式典の挙行、「津山高校だより」の発行を始め、種々の記念事業を行うことができました。改めてお礼申し上げます。

今年度は、4月8日に津高70期生240名、翌9日に津中2期生80名を新たに迎え、津高760名（19クラス）、津中160名（4クラス）、全校920名体制でスタートを切っています。習熟度別授業や、体験型授業、津山中高が独自に設定した科目授業などを通して、生徒の思考力・発信力・主体的に学ぶ力を育成し、「自主自律の精神を持ち、価値ある生き方を求めて努力し、広く国際社会や地域社会に貢献する人間の育成」を目指して教育活動を進めてまいります。学校の近況等は、9月開催予定の貴同窓会総会・懇親会でお話しさせていただこうと思っています。

去る3月1日には、67期生278名が巣立っていきました。生徒たちは教職員との



強い信頼関係の中、高い志を持って入試に臨み、例年以上の結果を残してくれました。特に、関東方面の国公立大学の合格者は約90名（現浪込み）と、昨年約50名（現浪込み）と比べ、大きく伸びています。これも貴同窓会が関東方面進学者を暖かく迎え入れ、公私にわたりご支援してくださっているためと、感謝の念に尽きません。

最後になりましたが、岡山県立津山高等学校関東同窓会の皆様方のご健勝とご多幸を祈念し、また、皆様方と9月にお目にかかれることを楽しみにしながら、筆を置かせていただきます。

### 過去3年間の関東を中心とした主要大学合格者数

国公立	北海道	筑波	東京	東京外	東京学芸	東京芸	東京農工	一橋	横浜国	群馬	埼玉	宇都宮	茨城	首都大東京	横浜市	高崎経済	京都	大阪	神戸	奈良女
平成26年		1		1	2		1		1					1	1		4	9	2	1
平成27年	3	1	1		1	1		1		2	1	2	1		3	1	2	7	7	1
平成28年		2	1	1	2					1	2	2	2	2		1	3	8		1
私立	青山学院	慶応	国際基督教	中央	東京理科	日本	法政	明治学院	明治	立教	早稲田	関西学院	関西	同志社	立命館	私立合計				
平成26年	1	4			8	1		1	4	1	5	18	32	13	25	458		26	3	185
平成27年	1	3		4	4	5	1		4	1	3	23	23	25	36	427		37	3	177
平成28年	2	8	1	5	2	4	1		4	5	12	19	18	19	26	408		36	2	192

**(株)スマイルディーシー**  
 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-28-12 ATYビル6F  
 tel: 03-6450-3230 / email: smiledc@etude.ocn.ne.jp  
 代表取締役 フキエ (平成1年卒40期生)

**仕事内容**  
 ウェディング関連、商業飲食、アパレルブランドなどの店舗内装、VI、撮影、カタログ制作などのアートディレクション、デザインやブランディングなど

[www.smiledc.com](http://www.smiledc.com)

**書籍**  
 SMILE WEDDING LIFE  
 アートディレクター フキエと著書 ウェディングコーディネートブック シリーズ7 昨日刊行 (文藝春秋)。これから結婚式を迎える全ての女性の夢をかなえる1冊。

笑顔のためのクリエイション

その人の感性を信じて、クリエイションの種を共に育てていく。人と人がつながっていく、その時を、咲き誇る笑顔で満たしていく。

その人の、その商品の、そのサービスの、その空間の、その気持ちの、本当の意味を見て、デザインする。

「大切な人の大切なものを大切に」それがスマイルディーシーの仕事です。

**坂本匡史建築設計室**  
 一級建築士事務所

〒158-0082  
 東京都世田谷区等々力6丁目19-20 ノワールプラン202号  
 mobile: 090-4585-5520  
 e-mail: ma\_sakamoto@nifty.com

代表  
**坂本 匡史**  
 MASAFUMI SAKAMOTO  
 一級建築士  
 名城大学理工学部非常勤講師  
 国士館大学理工学部非常勤講師

# 津山高校 120年の歩み



■津山高校は、2015年に創立120周年を迎えました。120年という一世紀以上に亘る長い歴史を、簡単ですが振り返ってみたいと思います。

年	津山中学	年	津山高等女学校
明治 28(1895)	岡山県津山尋常中学校開校 <sup>1)</sup> ○この頃の正装は筒袖・裁付袴に紺の脚絆・草鞋履きであった	明治 36(1903)	岡山県立津山高等女学校開校 <sup>2)</sup> ○この頃は木綿手織綿着物に海老茶袴で通学
32(1899)	岡山県津山中学校と改称	大正 5(1916)	生徒の袴に黒線を入れる
33(1900)	椿高下に新校舎本館(現本館)落成	9(1920)	岡山県津山高等女学校と改称
34(1901)	岡山県立津山中学校と改称	10(1921)	修業年限を5年とする
大正 9(1920)	岡山県津山中学校と改称	13(1924)	20周年記念館(温故館)竣工
昭和 3(1928)	校歌制定	14(1925)	セーラー型洋服を制服として許可する
4(1929)	創立30周年記念館(図書館)・武道場(柔道場)竣工	昭和 5(1930)	校歌制定
16(1941)	新生は戦闘帽・国防色制服となる	7(1932)	家庭科開設・図書館(而立館)落成
23(1948)	岡山県立津山高等学校となる(定時制併設)	19(1944)	スカートの黒線省略(入手困難な為)
	 第一回卒業生の正装	23(1948)	岡山県立津山女子高等学校となる(定時制併設)
			 黒線入り袴
昭和 24(1949)	津山高等学校・津山女子高等学校を統合し、岡山県立津山成美高等学校誕生(普通課程・家庭課程の総合高校)男子は椿高下校舎、女子は山下校舎に分かれ、始業式・卒業式と体育祭・文化祭のみ男女一緒 <sup>3)</sup>		
25(1950)	・くじ引きで山下・椿高下両校舎に男女同数ずつつける <sup>4)</sup>		
26(1951)	・校章を制定(現行のもの。旧制1高の柏に鶴山の鶴を加える)		
27(1952)	校歌制定		
28(1953)	・1年生は山下校舎、2年生は社会の選択で山下と椿高下に分かれ、3年生は椿高下校舎となる		
29(1954)	・制服制定(男子は黒詰襟、女子は折衿ダブル上衣・黒線入りスカート)		
31(1956)	岡山県立津山高等学校と改称 <sup>5)</sup> 。併設定時制を廃止		
	家庭課程の募集停止。普通科定員50名増		
33(1958)	・椿高下校舎の南側教室、火災で全半焼。これを契機に統合が動き始める		
35(1960)	・学区外5%入学が始まる		
37(1962)	簡易鉄骨造り二階建て普通教室一棟が完成し、2学期から2年生は全員椿高下校舎に揃う		
38(1963)	新校舎三棟が全て完成し、2学期から全校生徒が椿高下に揃う定員が500名になる		
40(1965)	山下校舎は壊され、而立館は同窓会館に、講堂は移転して美作教育会館に、温故館は徳守会館に変わる		
45(1970)	図書館・体育館・武道館を含めてほぼ全施設完成		
平成 7(1995)	生徒定員が最大の605名となる		
	記念祭の名称を十六夜祭に変更		
	・100周年記念として校訓「畏天敬人」制定 <sup>6)</sup>		
	理数科(定員40名)設置		
	・本館が国指定重要文化財となる		
10(1998)	新校舎が完成し、全学年新校舎での授業開始		
24(2012)	文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定(平成29年3月まで)		
27(2015)	岡山県立津山中学校(県北初の中高一貫校)を併設(80名入学)。生徒定員は普通科200名、理数科40名となる		



昭和34年頃の山下校舎



昭和63年頃の校舎

- 1) 県下唯一であった岡山県尋常中学校(現朝日高校)より9年遅れの開校。校舎は旧津山藩校修道館を使用。授業料月1円(当時の米15kg代に相当)。
- 2) 山下の仮校舎で開校。本科(修業年限4年)・技芸専修科(修業年限3年)で、この年の入学者は189名(定員400名)。6月に新校舎(本館)が落成し、移転。明治41年に補習科(修業年限1年)が増設されるが、43年には技芸専修科が廃止され、大正2年には補習科も廃止される。
- 3) 「成美」は『論語』顔淵「君子は人の美を成し、人の悪を成さず」からとる。体育祭最後の男女一緒のフォークダンスが楽しみであったとのことである。
- 4) 山下校舎に行く男子は「婿入り」、椿高下校舎に行く女子は「嫁入り」と称した。
- 5) 津山北園高校が津山商業高等学校に、津山峰南高校が津山工業高等学校に改称したことに伴い、「成美」の必要が無くなったことによる。
- 6) 『孔子家語』弟子行(前漢時代成立)の「畏天而敬人(天を恐れ人を敬う)」からとる。

参考資料: 津山高校百年史編纂委員会編『津山高校百年史上下』、福田卓也編『写真でつづる90年』、津山高校創立120周年記念誌編集委員会編『創立120周年記念誌』

# 津山のニュース

おもてなしの心が見える  
「10万都市津山にふさわしい玄関口」をめざして

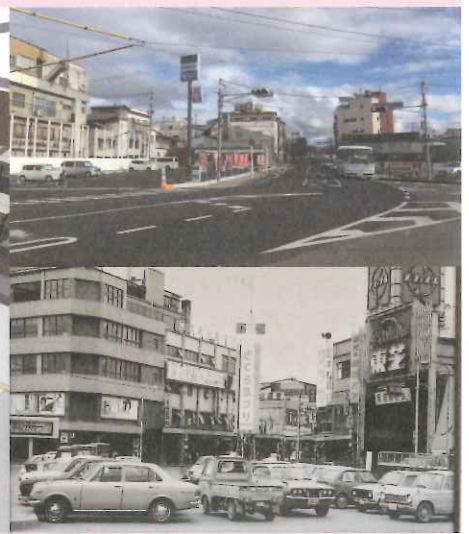
1946年から津山駅前を見てきたサクラ喫茶が2014年に、1957年から映画館として親しまれた津山明宝会館が2008年に、それぞれ幕を閉じ、駅前の風景も一変しています。

## 津山駅周辺の再整備事業

駅前の課題であった空き店舗の増加に伴う駅前商店街の低密度化、国道により分断されたバスターミナルの利便性低下を解消すべく、津山駅前の周辺整備が次のように進められています。

高速バス、広域バスターミナルを統合し、交通観光案内所と飲食店による賑わいゾーンが新設されます。

交通観光案内所（木造2階建て約190㎡）は、市観光協会が運営する観光案内スペースのほか、バス発券所・コミュニティホールを備えます。賑わいゾーンにはこういった種類の店舗が必要か市民のニーズを調査しながら募集（すでに昨年10月下旬にすし店がオープン）しています。



再整備後の津山駅前イメージ図  
出典：津山市都市建設部都市計画課編『津山駅周辺整備計画』

上：津山駅から今津屋橋方面を望む（2015年撮影）  
下：同アングル（1971年撮影：米谷章夫氏）

## 津山市の 新ロゴ誕生

歴史と文化の象徴として津山城の「石垣」がモチーフ。

庁用者や封筒・チラシ・ポスター市が取り組む事業で使用します。



暮らし、  
ほんもの。



津山市外に在住する人が津山市を応援するファンクラブサイト。

津山市公式観光サイト  
知らない津山を発見できるかも。

津山市公式観光サイト

つやま  
小旅

tsuyama  
short  
trip

津山関連の  
情報サイト

Marco Polo Japan

海外イベントチケット

代表取締役

花村 浩二

有限会社マルコポーロジャパン

〒136-0071 東京都江東区亀戸8-26-5-1405  
TEL:03-5628-3822 FAX:03-5628-3823  
Mobile: 090-1996-1773  
URL: <http://www.mpj-ticket.com>  
E-mail: [rubsoul@mpj-ticket.com](mailto:rubsoul@mpj-ticket.com)



代表取締役 / オーナーシェフ  
フードプロデューサー

難波 秀行  
Hideyuki Namba

[namba@petaledesakura.com](mailto:namba@petaledesakura.com)

レストラン ペタル ドゥ サクラ  
株式会社 さくら喫茶

〒215-0008 横浜市区泉区弥生台5-2  
Tel.045-443-5876  
Fax 営業キッパン直通電話 Tel.045-443-5874

[www.petaledesakura.com](http://www.petaledesakura.com)

津山駅前で2014年まで「サクラ喫茶」を祖父の代から営んでおりましたが、私の代になり、2014年12月から横浜でフレンチレストランを経営しております。よろしくお願致します。

# 関東同窓会役員・常任委員一覧



会長 片岡廣治郎 (35年卒)      副会長 竹内妙子 (36年卒)      副会長 増田美子 (37年卒)      副会長 草地八寿郎 (40年卒)  
 副会長(事務局長)石井雅晴(48年卒)      監査 高本征治 (35年卒)      会計・庶務 山本大 (49年卒)      会計・庶務 山田雅義 (50年卒)  
 事務局補佐 馬場史郎 (35年卒)      事務局補佐 水田潤子 (46年卒)      事務局補佐 広野晃子 (50年卒)      事務局補佐 神田英一 (54年卒)  
 事務局補佐 照尾彰教 (57年卒)      事務局補佐 早瀬徹 (63年卒)

卒業	氏名	電話番号	卒業	氏名	電話番号	卒業	氏名	電話番号	卒業	氏名	電話番号
10	小坂 進二	042-463-0015	35	片岡 廣治郎	043-284-2455	47	原 雅彦	047-457-3490	58	後藤 かおり	03-3929-7437
13	山本 兼三	03-3700-5700	36	佐桑 慎二	045-713-5593	48	石井 雅晴	03-3984-7515	59	安田 明弘	090-3347-0143
17	影山 和枝	042-321-4340	36	竹内 妙子	03-3209-5186	48	永松 呉葉	044-953-1695	59	片山 政周	029-856-0030
18	井上 昌子	03-3717-9333	36	近藤 達也	044-854-8138	49	林 敏彦	03-5475-8290	59	林 同文	
20	今村 文郷	0463-96-0050	37	増田 美子	042-591-1853	49	山本 大	047-382-8668	60	枝並 輝之	090-5798-7907
22	浮田 裕之	03-3333-4044	37	泉 昭正	0422-20-7611	49	中山 有美	03-3491-0810	60	山本 敏伸	090-3907-2184
22	福井 富枝	047-355-0814	37	大森 慎	0467-22-4450	50	額田 洋一	049-267-2475	61	芦田 将	090-8598-3745
25	長谷 武	045-382-1414	37	山本 茂樹	048-966-1751	50	山本 博文	048-482-4075	61	黒田 俊恵	080-3481-5735
26	小賀 由章	04-7147-7809	38	澤谷 豊	045-955-1716	50	幡上 敬子	042-734-9251	62	岡野 洋士	045-973-2353
26	竹久 美与子	0467-32-3969	39	衣笠 一成	045-902-3680	50	広野 晃子	044-855-2053	62	谷口 太郎	048-465-7103
27	久本 昌夫	03-3990-6882	39	安藤 淑子	080-3583-0213	50	山田 雅義	03-3354-2218	62	廣野 崇文	090-3110-7365
28	浮田 久	045-594-4922	40	草地 八寿郎	043-294-7690	51	佐竹 康宏	03-5350-3707	63	小山 将良	090-4733-3243
28	三宅 寛子	045-833-3486	41	赤木 省三	042-657-7566	51	岡田 恵子	03-3843-3354	63	繁定 正典	090-9822-9534
29	原 光徳	046-873-7209	41	高橋 伸昌	080-1179-0823	52	角南 元司	03-3825-0740	63	早瀬 徹	090-3221-3847
29	安藤 美恵子	03-3321-6056	41	井上 幸恵	048-258-6818	53	阿部 達彦	049-271-2080	H元	熊部 美保	03-3428-6057
30	金築 順子	04-2944-5403	42	堀内 慎一	042-366-1579	53	山口 ゆりか	045-548-1048	2	中西 孝	04-7186-0838
31	白岩 良一	043-421-3261	43	神家 康博	043-279-3019	54	松田 匡司	043-294-3986	4	日下 康幸	080-3918-0365
31	大谷 昌子	042-360-4767	44	零 二公雄	0466-33-7410	54	神田 英一	03-5577-2899	4	花村 浩二	03-5628-3822
32	友保 隆晴	047-475-6190	45	木多 務	0466-35-2601	55	内田 達也	042-577-4502	4	柳澤 雅人	090-7779-1398
33	福原 毅	03-3391-0392	45	福田 正志	048-858-8783	56	山本 進	090-5532-2809	4	國井 美由紀	03-3635-6122
33	柿内 扶仁子	03-3467-3671	45	高畠 範真	048-966-6882	56	石田 徳子	045-778-3056	4	関口 理砂	090-9998-3263
34	奥田 恭彦	047-449-3873	46	植月 雅文	03-6677-3964	56	久保 明美	03-3767-9160	5	山縣 政宏	0467-43-7107
34	岩下 尚子	047-439-3164	46	水田 潤子	044-855-7976	57	照尾 彰教	090-1204-4095	8	日上 多聞	0422-44-1565
35	高本 征治	03-5690-4055	47	有吉 啓子	048-855-2741	57	杉原 隆世	0466-35-2788	10	山田 精一	090-4658-0568
35	馬場 史郎	03-3921-3265	47	谷岡 宏	045-505-3033	58	神橋 一彦	090-5686-9990	11	小谷 匠平	090-1652-4913

◆ 常任委員ご不在の年度の方は、早急に常任委員を決定し事務局までご連絡ください。  
 ◆ 同期の方の住所等についての問い合わせや住所変更などの連絡は、各期の常任委員の方までお願いします。同期の常任委員がない場合は、事務局へお問い合わせください。

津山・岡山県北の今を読むなら

## 津山朝日新聞

郷土の情報紙

### 津山朝日新聞社

夕刊紙・月刊紙

広告・ちらし全般、自費出版(自分誌・研究誌・趣味の出版物)

〒708-0052 岡山県津山市田町13  
Tel 0828-22-3135 fax 0868-24-3184

岡山ゆかりの学生を受け入れている学生寮です

- 冷暖房完備、広い個室、スポーツ施設併設
- 2食付で安い寮費など、学生生活環境が整っています

公益財団法人 **鶴山館**



〒202-0013  
東京都西東京市中町 5-10-8  
☎ 042-422-5951



謹んでお悔やみ申し上げます

昭和9年卒 吉田 延様	昭和15年卒 内田 完様	昭和24年卒 和田 寿美子様	昭和31年卒 牧野 博章様
昭和13年卒 芦田 三枝様	昭和19年卒 河井 弘次様	昭和25年卒 大谷 智昭様	昭和34年卒 村上 雅敏様
昭和14年卒 末房 道子様	昭和20年卒 河田 禎之様	昭和26年卒 奥 浩二様	昭和37年卒 神庭 洋様
昭和14年卒 馬場 靖子様	昭和22年卒 氏平 光昭様	昭和27年卒 影山 靖様	昭和39年卒 小林 茂吉様
昭和15年卒 浅島 義郷様	昭和24年卒 深山 忠昭様	昭和29年卒 高本 幹永様	昭和48年卒 加藤 元一郎様

2015年3月から2016年2月末までに文書で事務局にお知らせがあった方のみを掲載しています。

関東同窓会総会懇親会のご案内

日時：2016年9月24日(土) 受付開始 11:30 開会 12:00  
 会場：ホテルグランドパレス 白樺の間 (東西線九段下駅)  
 会費：6,000円(会員一律)  
 ◆2次会は23階ラウンジに準備してあります。

作品展大募集!

今年も恒例となりました総会会場での同窓会作品展を開催します。皆様奮って出品をお願いします。  
 作品サイズ：絵画は10号程度 書画は軸装で半切程度  
 陶器は5点位まで  
 申込み締切：2016年8月31日  
 ◆詳しくは事務局までお問い合わせください。

寄稿のお願い

編集委員会では、本会報への寄稿をお待ちしております。会員相互の交流の場となることを願い、皆様の近況報告・随想・ご意見等々の原稿をお寄せください。字数は、400字程度でお願いいたします。尚、紙幅等の関係から、採否の決定は編集委員会ですべて頂きます。ご了承ください。

編集委員

編集委員長：増田美子(昭和37年卒)  
 編集委員：竹内妙子(昭和36年卒)・水田潤子(昭和46年卒)  
 山本大(昭和49年卒)・神田英一(昭和54年卒)  
 國井美由紀(平成4年卒)・関口理砂(平成4年卒)  
 オブザーバー：石井雅晴(昭和48年卒)  
 編集協力者：神田敦子

関東同窓会 公式サイト

津高ドットコム

検索

「ふるさと作州のつどい」のご案内

首都圏在住の作州出身者のつどいが開催されます。  
 日時：2016年11月12日(土) 18:30~20:40  
 会場：東海大学校友会館  
 (千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35F)  
 会費：6,000円  
 申込み先：津山広域事務組合 当日参加もOK  
 主催：ふるさと作州のつどい実行委員会

関東同窓会だよりの広告募集

次号会報誌の広告を募集します。  
 サイズ(mm)：①横62×縦38 ②横190×縦38  
 協賛金：①一口5,000円 ②一口15,000円  
 申込み締切：2016年12月31日  
 連絡先：事務局 03-3984-7515  
 皆様からの協賛をお待ちしています。  
 ◆詳しくはコチラ <http://www.tsukou.com/ad/>

編集後記

関東同窓会報創刊号をお届けいたします。作州を遠く離れた坂東の地で暮らす同窓生3000人の架け橋となることを願い、編集委員一同労を惜まず、手作りに近い形で作成いたしました。種々至らぬ点もあろうかとは存じますが、ご寛恕ください。次号以降内容をより充実したものとし、会員相互の結びつきを一層強める媒体となるべく努力して参りますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。ご意見・ご要望等をお待ちしております。(増田)

津山高校関東同窓会だより 創刊号

2016年6月30日 発行  
 発行人 片岡廣治郎